# 今年度実施する検討内容の提案 （戦略チームの進め方）

資料－5

【事務局作業】

【国際物流戦略チーム検討】

## 北陸地域の現状認識

◆北陸地域の物流の現状認識
物流動向の把握
　輸出入コンテナ
　港湾貨物
　航空貨物
・国際情勢の整理
・地域情勢の整理

◆北陸地域の物流の課題認識
・北陸地方総合物流施策推進会議結果のポイント絞り込み

◆検討内容
・北陸地域のメリットを活かすための方策検討
・北陸地域の課題を解消するための方策検討

◆１年目の取り組み
産・学・官が連携して上記方策を検討するための組織（戦略チーム）立ち上げ、北陸地域の現状について関係機関が共通の認識を持って、以下の検討を行う。

◆共通認識
・社会経済現況
・港湾現況
・企業立地
・交通アクセス
・関連計画
・物流の特徴
・貨物動向
・港湾業務現況
・社会資本整備状況
・課題の抽出

第一回本部会
８月23日

## 実現に向けた取り組み

◆地域（背後圏別）の実情に応じた物流ニーズの把握

荷主等に対して、多頻度物流サービスを構築するために必要なハード面とソフト面に関する各種要望をヒアリングする。

◆要望の実現に必要な新規制度および支援制度の検討

ケーススタディーにより効果を検証する。

◆課題を解消する方策検討

北陸地域の実情を踏まえた緊急的課題について検討を行う。
Ex.小口貨物集約支援センター

◆メリットを活かす方策検討

北陸地域の国際物流機能を利用するメリットを地元および背後圏へＰＲする。
１年目は、北経連と連携して中京圏を視野に入れたセミナーを開催する。（集荷、物流センター誘致）

◆具体策の検討
・新規制度/支援制度
・具体的実施案
・事例調査
・効果の検証
・メリット広報

審議

第一回幹事会
11月上旬

報告

第二回本部会
12月上旬

PR

セミナー
2月中旬

本年度　↑

次年度以降　↓

## 地域毎の既存協議会等との連携

## 連携による方策実現

◆新規制度の具体的要求

◆具体的施策の実現に向けた関係機関との調整

◆北陸の物流情報に関する共有システムの構築（共同ホームページ開設）

◆　２年目以降の取り組み
・国際フェリー・国際RORO船就航の可能性検討
・ワンストップサービスなどリードタイムの短縮検討
・手続きの簡素化
・信頼性を確保した物流サービスの構築検討
・北陸の国際物流機能の利用促進PRなど（北関東圏、近畿圏）

幹事会
本部会
セミナー